

『認知症』について知ろう

～9月は茨城県認知症を知る月間です～



■問合せ 美浦村地域包括支援センター(福祉介護課内) ☎029-885-0340(内)135

認知症は、様々な病気が原因で脳に障害が生じ、記憶・判断力などの低下により日常生活や社会生活に支障が出ている状態（おおよそ6カ月以上継続）をいいます。高齢になれば誰でも認知症になる可能性があります。正しく理解し、早く気付いて対応することで、その症状を軽減できたり、進行を緩やかにすることができます。

この物忘れは…？

年をとれば誰でも思い出したいことがすぐに思い出せなかったり、新しいことを覚えるのが難しくなってきますが、「認知症による物忘れ」はこのような「加齢による物忘れ」とは違います。

▼「加齢による物忘れ」と「認知症による物忘れ」の違いの一例

加齢による物忘れ	認知症による物忘れ
体験の「 一部 」を忘れる (例：朝ごはんは何を食べたか思い出せない)	体験の「 全部 」を忘れる (例：朝ごはんを食べたこと自体を忘れる)
「 約束をうっかり 」忘れてしまう	「 約束したこと自体 」を忘れる
目の前の「 人の名前 」が思い出せない	目の前の人「 誰なのか 」わからない
忘れても「 ヒントがある 」と思い出せる	「 ヒントがあっても 」思い出せない

※あくまでも目安です。当てはまらない人もいます。

《認知症の人との接し方は？》

認知症になる可能性は誰にでもあります。症状に最初に気づき、誰よりも不安になるのは本人です。温かい見守り、適切な援助を受けることで穏やかに過ごすことができます。接し方の心得は、①驚かせない、②急がせない、③自尊心を傷つけないの3つの「ない」です。

《早期発見・早期対応が鍵》

「おかしいな」と気付いたら、ひとりで、家族で悩まず地域包括支援センターにご相談ください。認知症やその介護に関するさまざまな相談に応じています。本人や家族の状況をお聞きし、医療機関の受診や介護サービスの利用など、必要な支援へとつなげます。

認知症サポーター養成講座を開催します

認知症サポーターは何か特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者です。修了者には認知症サポーターの目印であるオレンジリングをお渡しします。

- ◇日時 9月29日(火)午後2時～3時30分(受付/午後1時30分～)
- ◇会場 地域交流館みほふれ愛プラザ研修室1・2
- ◇受講料 無料
- ◇定員 先着20名(村内在住、在勤の方)
- ◇申込先 美浦村地域包括支援センター ☎029-885-0340(内)135



※新型コロナウイルスの流行状況によっては中止する場合がございます。その場合は、申込者にお知らせするとともに、村ホームページに掲載しますのでご確認ください。